

2025年5月15日

各 位

株式会社サイバーエージェント
代表取締役 代表執行役員 社長 藤田 晋
(コード番号: 4751 東証プライム市場)
問合せ先 IR・SR 室長 宮川 園子
連絡先 03-5459-0227

**(訂正・数値データ訂正)「2025年9月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)」
の一部訂正について**

当社は、2025年1月29日付で開示いたしました「2025年9月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)」の一部を訂正いたしましたので、下記のとおりお知らせいたします。

また、数値データにも訂正がありましたので訂正後の数値データも送信いたします。

記

1. 訂正の内容及び理由

訂正の内容及び理由につきましては、別途、本日(2025年5月15日)付「過年度有価証券報告書等の訂正報告書の提出及び過年度決算短信等の訂正に関するお知らせ」にて開示しておりますのでご参照ください。

2. 訂正箇所

訂正箇所には____を付して表示しております。

なお、訂正箇所が多数に及ぶことから、訂正後のみ全文を記載しております。

以 上

(訂正後)



2025年9月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2025年1月29日

東

上場会社名 株式会社サイバーエージェント

上場取引所

コード番号 4751

URL <https://www.cyberagent.co.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役 代表執行役員 社長

(氏名) 藤田 晋

問合せ先責任者 (役職名) 取締役 専務執行役員

(氏名) 中山 豪

(TEL) 03-5459-0202

配当支払開始予定日

—

決算補足説明資料作成の有無 : 有

決算説明会開催の有無 : 有 (動画配信のみ)

(百万円未満切捨て)

1. 2025年9月期第1四半期の連結業績(2024年10月1日～2024年12月31日)

(1) 連結経営成績

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する四半期純利益		包括利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2025年9月期第1四半期	203,842	5.8	8,301	41.6	8,806	45.4	5,071	—	6,532	—
2024年9月期第1四半期	192,655	15.1	5,864	—	6,058	—	△892	—	△2,355	—

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2025年9月期第1四半期	10.01	9.21
2024年9月期第1四半期	△1.76	—

(注) 2024年9月期第1四半期の潜在株式調整後1株当たり四半期純利益については、潜在株式は存在するものの、1株当たり四半期純損失であるため、記載しておりません。

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本	自己資本比率
	百万円	百万円	百万円	%
2025年9月期第1四半期	521,241	248,271	152,859	29.3
2024年9月期	516,686	250,504	155,634	30.1

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2024年9月期	—	0.00	—	16.00	16.00
2025年9月期	—	—	—	—	—
2025年9月期(予想)	—	—	—	17.00	17.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2025年9月期の連結業績予想(2024年10月1日～2025年9月30日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通 期	820,000	2.3	42,000	4.8	42,000	5.8	21,000	31.4	41.46

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における連結範囲の重要な変更 : 無
新規 一社 (社名) 、除外 一社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数 (普通株式)

① 期末発行済株式数 (自己株式を含む)	2025年9月期1Q	506,430,400株	2024年9月期	506,344,400株
② 期末自己株式数	2025年9月期1Q	1,098株	2024年9月期	1,098株
③ 期中平均株式数 (四半期累計)	2025年9月期1Q	506,371,098株	2024年9月期1Q	506,202,815株

※ 添付される四半期連結財務諸表に対する公認会計士又は監査法人によるレビュー : 無

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

業績予想につきましては、現時点で入手可能な情報に基づき当社グループで判断したものであり、リスクや不確定な要素等の要因が含まれており、実際の成果や業績等は記載の見通しとは異なる可能性がございます。なお、上記業績予想に関する事項は、【添付資料】2ページ「1. 経営成績等の概況 (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況	2
(1) 当四半期連結累計期間の経営成績の概況	2
(2) 当四半期連結累計期間の財政状態の概況	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	3
(1) 四半期連結貸借対照表	3
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	4
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	6
(会計方針の変更に関する注記)	6
(セグメント情報等の注記)	6
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(キャッシュ・フロー計算書に関する注記)	8

1. 経営成績等の概況

(1) 当四半期連結累計期間の経営成績の概況

当社グループは、2016年に開局した新しい未来のテレビ「ABEMA」を中心とした事業拡大を目指しております。昨今、日本のみならず世界においてメディアミックス戦略を中心としたIPビジネスが急成長しており、当社も「ABEMA」と親和性の高いIP事業の強化に取り組んでおります。また、成長産業であるインターネット広告市場やゲーム市場を取り込み、当第1四半期連結累計期間における売上高は203,842百万円（前年同期比5.8%増）、営業利益は8,301百万円（前年同期比41.6%増）、経常利益は8,806百万円（前年同期比45.4%増）、親会社株主に帰属する四半期純利益は5,071百万円（前年同期間892百万円の損失計上）となりました。

セグメント別の経営成績は次のとおりであります。

なお、当第1四半期連結会計期間より、報告セグメントの区分を変更しており、以下の前年同期比較については、前年同期の数値を変更後のセグメント区分に組替えた数値で比較しております。

① メディア&IP事業

メディア&IP事業には、「ABEMA」、「WINTICKET」等が属しており、重層的に売上を積み上げ、売上高は55,638百万円（前年同期比10.5%増）と好調に推移いたしました。また、「ABEMA」の損失改善が寄与し、営業損益は1,416百万円の利益計上（前年同期間796百万円の損失計上）となりました。

② インターネット広告事業

インターネット広告事業には、インターネット広告事業本部、AI事業本部等が属しております。

新規開拓等が奏功し、売上高は117,792百万円（前年同期比12.3%増）、営業損益は6,012百万円の利益計上（前年同期比14.6%増）となりました。

③ ゲーム事業

ゲーム事業には、(株)Cygames、(株)Colorful Palette、(株)QualiArts、(株)サムザップ、(株)アプリボット等が属しております。

好調な新規タイトルがある一方で、既存タイトルの落ち込みがあり、売上高は38,247百万円（前年同期比15.1%減）、営業損益は3,352百万円の利益計上（前年同期比4.1%減）となりました。

④ 投資育成事業

投資育成事業にはコーポレートベンチャーキャピタル、(株)サイバーエージェント・キャピタルにおけるファンド運営等が属しており、売上高は465百万円（前年同期比24.8%減）、営業損益は85百万円の利益計上（前年同期比16.0%減）となりました。

(2) 当四半期連結累計期間の財政状態の概況

当第1四半期連結会計期間末における総資産は521,241百万円（前連結会計年度末比4,554百万円の増加）となりました。これは、主に売上高の増加に伴う受取手形、売掛金及び契約資産の増加によるものであります。

負債は272,969百万円（前連結会計年度末比6,787百万円の増加）となりました。これは、主に売上高の増加に伴う買掛金の増加によるものであります。

純資産は248,271百万円（前連結会計年度末比2,233百万円の減少）となりました。これは、主に配当金の支払等に伴う利益剰余金の減少によるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2024年10月30日に公表した連結業績予想から修正は行っておりません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2024年9月30日)	当第1四半期連結会計期間 (2024年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	210,041	205,583
受取手形、売掛金及び契約資産	81,152	89,416
棚卸資産	11,594	10,675
営業投資有価証券	18,206	19,557
その他	38,001	42,551
貸倒引当金	△363	△355
流動資産合計	358,632	367,429
固定資産		
有形固定資産	27,278	29,240
無形固定資産		
のれん	14,778	14,599
その他	34,519	36,914
無形固定資産合計	49,297	51,514
投資その他の資産		
その他	82,120	73,701
貸倒引当金	△691	△690
投資その他の資産合計	81,428	73,011
固定資産合計	158,005	153,766
繰延資産	48	45
資産合計	516,686	521,241
負債の部		
流動負債		
買掛金	74,235	79,434
短期借入金	600	5,665
未払法人税等	9,709	2,834
1年内償還予定の転換社債型新株予約権付社債	20,016	20,005
その他	63,664	65,242
流動負債合計	168,226	173,182
固定負債		
転換社債型新株予約権付社債	40,439	40,418
長期借入金	45,722	47,474
勤続慰労引当金	3,452	3,465
資産除去債務	2,626	2,629
その他	5,714	5,800
固定負債合計	97,955	99,787
負債合計	266,181	272,969
純資産の部		
株主資本		
資本金	7,440	7,494
資本剰余金	12,296	12,092
利益剰余金	122,704	119,674
自己株式	△1	△1
株主資本合計	142,439	139,260
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	12,917	13,236
為替換算調整勘定	277	362
その他の包括利益累計額合計	13,194	13,598
新株予約権	2,644	2,726
非支配株主持分	92,226	92,685
純資産合計	250,504	248,271
負債純資産合計	516,686	521,241

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第1四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2023年10月1日 至 2023年12月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2024年10月1日 至 2024年12月31日)
売上高	192,655	203,842
売上原価	143,056	149,862
売上総利益	49,598	53,979
販売費及び一般管理費	43,734	45,678
営業利益	5,864	8,301
営業外収益		
受取利息	42	103
受取配当金	138	182
為替差益	—	301
その他	295	205
営業外収益合計	477	793
営業外費用		
支払利息	56	82
持分法による投資損失	46	35
その他	180	168
営業外費用合計	283	287
経常利益	6,058	8,806
特別利益		
固定資産売却益	0	1,700
その他	168	10
特別利益合計	168	1,711
特別損失		
減損損失	175	1,273
のれん償却額	3,376	—
その他	5	38
特別損失合計	3,556	1,312
税金等調整前四半期純利益	2,670	9,206
法人税、住民税及び事業税	3,076	2,621
法人税等調整額	207	588
法人税等合計	3,284	3,210
四半期純利益又は四半期純損失(△)	△614	5,995
非支配株主に帰属する四半期純利益	278	923
親会社株主に帰属する四半期純利益又は親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	△892	5,071

四半期連結包括利益計算書

第1四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2023年10月1日 至 2023年12月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2024年10月1日 至 2024年12月31日)
四半期純利益又は四半期純損失 (△)	<u>△614</u>	5,995
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△1,780	467
為替換算調整勘定	0	89
持分法適用会社に対する持分相当額	38	<u>△20</u>
その他の包括利益合計	<u>△1,741</u>	536
四半期包括利益	<u>△2,355</u>	6,532
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	<u>△2,346</u>	5,475
非支配株主に係る四半期包括利益	△8	1,056

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(会計方針の変更に関する注記)

(「法人税、住民税及び事業税等に関する会計基準」等の適用)

「法人税、住民税及び事業税等に関する会計基準」(企業会計基準第27号 2022年10月28日。以下「2022年改正会計基準」という。)等を当第1四半期連結会計期間の期首から適用しております。

法人税等の計上区分(その他の包括利益に対する課税)に関する改正については、2022年改正会計基準第20-3項ただし書きに定める経過的な取扱い及び「税効果会計に係る会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第28号 2022年10月28日)第65-2項(2)ただし書きに定める経過的な取扱いに従っております。なお、当該会計方針の変更による四半期連結財務諸表への影響はありません。

(セグメント情報等の注記)

前第1四半期連結累計期間(自 2023年10月1日 至 2023年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位: 百万円)

	報告セグメント					調整額 (注1)	四半期連結損益 計算書計上額
	メディア &IP	インター ネット広告	ゲーム	投資育成	計		
売上高							
顧客との契約から生じる収益 (注2)	47,515	99,520	45,009	610	192,655	—	192,655
(1) 外部顧客への売上高	47,515	99,520	45,009	610	192,655	—	192,655
(2) セグメント間の内部売上高 又は振替高	2,835	5,380	34	8	8,259	△8,259	—
計	50,351	104,900	45,043	619	200,914	△8,259	192,655
セグメント利益又は損失(△)	△796	5,246	3,495	102	8,048	△2,183	5,864

(注) 1. セグメント利益の調整額△2,183百万円は全社費用等であり、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2. 顧客との契約から生じる収益以外の収益の額については重要性がないことから、顧客との契約から生じる収益と区分して表示しておりません。

2. 報告セグメントの変更等に関する情報

該当事項はありません。

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

該当事項はありません。

(のれんの金額の重要な変動)

該当事項はありません。

(重要な負ののれん発生益)

該当事項はありません。

当第1四半期連結累計期間（自 2024年10月1日 至 2024年12月31日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

（単位：百万円）

	報告セグメント					調整額 (注1)	四半期連結損益 計算書計上額
	メディア &IP	インター ネット広告	ゲーム	投資育成	計		
売上高							
顧客との契約から生じる収益 (注2)	52,165	113,035	38,176	465	203,842	—	203,842
(1) 外部顧客への売上高	52,165	113,035	38,176	465	203,842	—	203,842
(2) セグメント間の内部売上高 又は振替高	3,473	4,756	71	0	8,300	△8,300	—
計	55,638	117,792	38,247	465	212,143	△8,300	203,842
セグメント利益	1,416	6,012	3,352	85	10,867	△2,566	8,301

(注) 1. セグメント利益の調整額△2,566百万円は全社費用等であり、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

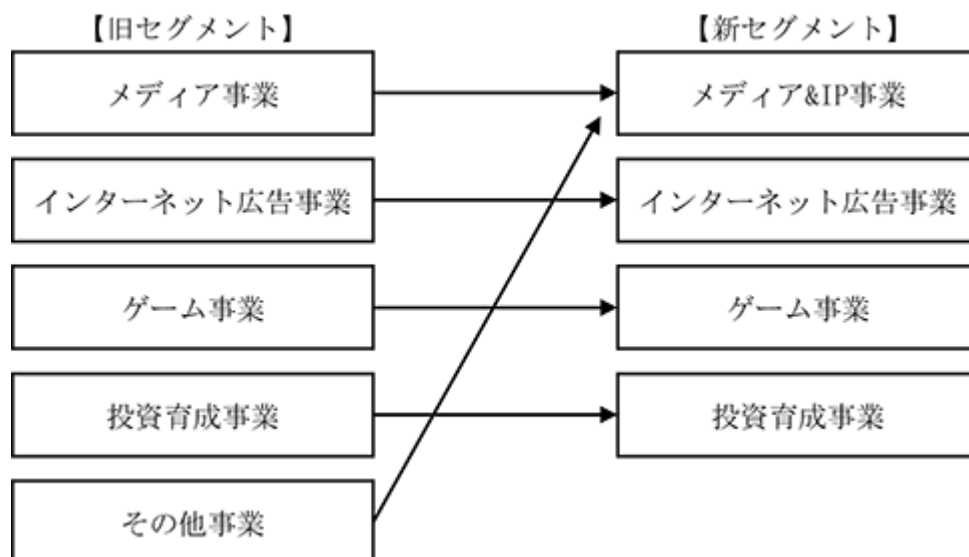
2. 顧客との契約から生じる収益以外の収益の額については重要性がないことから、顧客との契約から生じる収益と区分して表示しておりません。

2. 報告セグメントの変更等に関する情報

(セグメント区分の変更)

当第1四半期連結会計期間より、新しい未来のテレビ「ABEMA」を中心としたグループシナジーの強化を目的とした新体制に則り、報告セグメントの「その他事業」を「メディア事業」へ統合いたします。また、アニメ等のIP事業の拡大を目指し、従来の「メディア事業」の名称を「メディア&IP事業」に変更いたしました。

なお、前第1四半期連結累計期間のセグメント情報は、変更後の報告セグメントの区分に基づき作成したものを開示しております。



3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

「ゲーム」セグメントにおいて、一部サービスの収益性低下等により当初想定していた収益及び費用削減が見込めなくなったため、減損損失として特別損失に計上いたしました。なお、当第1四半期連結累計期間における当該減損損失の計上額は下表のとおりであります。

ゲーム	1,273百万円
合計	1,273百万円

(のれんの金額の重要な変動)

該当事項はありません。

(重要な負ののれん発生益)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(キャッシュ・フロー計算書に関する注記)

当第1四半期連結累計期間に係る四半期連結キャッシュ・フロー計算書は作成しておりません。なお、第1四半期連結累計期間に係る減価償却費（のれんを除く無形固定資産に係る償却費を含む。）及びのれんの償却額は、次のとおりであります。

	前第1四半期連結累計期間 (自 2023年10月1日 至 2023年12月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2024年10月1日 至 2024年12月31日)
減価償却額	2,542百万円	1,935百万円
のれんの償却額	3,487百万円	213百万円